

トライアスロン女子 高橋侑子



テ스트大会を兼ねたトライアスロン女子の五輪予選で、スイムを終えバイクに向かう。高橋　（2日、リオデジャネイロ（共同））

リオ経由「東京」照準

【リオデジャネイロ＝共同】来年のリオデジャネイロ五輪の本番会場で2日に行われたトライアスロンの五輪予選で、23歳の高橋侑子（東京都連合）が日本勢

最高の14位に入った。リオ五輪で上位進出が望まれるホープだ。

リオ五輪に向けた最初の代表選考レースで、高橋は

有名観光地のコパカバーナ海岸をスタートして大西洋を泳ぐスイムで好位置についた。日本の公道では、ま

ず見ないほど急勾配の坂を

越えるバイクを先頭集団で争った。世界のトップ選手とは最後のランで差が出た

が、実力者がそろったレースで健闘した。

最大の収穫はスイムの出来だったという。「うねりがあつてプールよりは泳ぎにくかったけど、私の中ではよく泳げた方。課題だったの『プラス材料』と喜んだ。

東京都出身で中学時代に日本ジュニア選手権の15歳以下の部で優勝し、高校から本格的にトライアスロンを始めた。今春に法大を卒業し、競技に専念できる環境になった。日本チームの山根英紀コーチは「彼女はこれからが一番伸びる。30歳前後でピークを迎える競

技なので、東京が楽しみ」と期待する。

研究熱心さで知られ、今回もリオの地形を入念に調べて結果につなげた。「現地に来てみて分かったこともある。バイクの走り方などのポイントが見えてきた」。来年の大舞台で活躍する自分の姿を思い浮かべるように言った。